

スタッフ便り

2年前にちょっとしたきっかけでトレッキングを始めました。山の中の緑、森林限界を超えた尾根での風、そして遠くまで見渡せる景色に魅了されました。昨年夏には、山小屋デビューと2000m級の山を体験するため鳥海山へ行く予定でした。しかし、新型コロナウイルスの第2波により山小屋は閉鎖、山行も中止することにしました。秋になり紅葉のシーズンには第2波も収束、仙台から日帰りできる栗駒山、熊野岳、月山を登り、初雪が降り始めてから面白山に登りました。面白山は宮城県と山形県の県境にある1,264mの山です。仙山線面白山高原駅から紅葉川の溪谷にそって中面白山を超え、約3時間、面白山の頂上に立ちました。そこに待っていたのは、雲一つない青空と、鳥海山、月山、朝日連峰、飯豊連峰、蔵王連峰の雪をかぶった勇姿。しばらくその姿に見とれてしまいました。2021年は新型コロナウイルスの感染も収まり、東北の山々を巡れるようになればと願っています。(A.M)

今更ですが、コロナ禍で、昨年すべての小中学校が3月初旬から4月上旬まで休校になり感じたことが学校給食のありがたみでした。私には子供が3人(中学生2、小学生1)いますが、ステイホーム中、妻曰く、よく食べるので、食費がかかって、かかってしょうがないということでした。特に、昼食は通常なら学校給食ですので、だいたい一人の給食費が6千円前後、3人で2万円もかからないというのに、ステイホーム期間中は、お菓子だ、ジュースだ、アイスだと学校給食ではでるはずもないものがプラスされるので、昼食のエンゲル係数が半端ではなかったというのが現実でした。今般のコロナ禍を経験し、本当に学校給食の安さには、感謝しないといけないとつくづく感じたところです。ちなみに、仙台市立の小中学校では、給食1食の単価が小学校で約290円、中学校では約345円で、美味しさはさておき、子供の成長に必要な栄養が取れるように、学校栄養士さんがバランスのいい食事になるように毎日献立を考えてくれています。学校栄養士さんと学校給食法を立法して下さった国会議員の皆様方に、改めて感謝しなければならないと思う次第です。第3波が来ているという現時のコロナ禍で、家族及び職場以外の人との接触を避けつつ、日々、外出は、職場の往復と近所への買い物という静かな生活を営んでおります。ここサイバーサイエンスセンターには昨年4月に着任して以来、前任の理学部での送別会も「コロナが終息したらやりましょう。」といわれて送別されて、もう少して、1年が経ってしまうというこの状況。果たして、この状況がいつまで続くことやらと思いつつ、毎朝、体温を計測して日々の生活を送っています。(K.H)



SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 伊藤昭彦
早坂和勝 大泉健治 小野 敏 斉藤くみ子

令和3年1月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF作成 株式会社 東誠社